



## 平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 サントリー食品インターナショナル株式会社  
コード番号 2587 URL <http://www.suntory.co.jp/sbf/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥井 信宏

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 市本 徹雄 TEL 03-3275-7022

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	837,157	12.0	52,210	20.0	48,493	20.3	24,516	57.0
24年12月期第3四半期	747,274	—	43,523	—	40,302	—	15,613	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 65,073百万円 (227.0%) 24年12月期第3四半期 19,900百万円 (—%)

(参考) EBITDA 25年12月期第3四半期 1,010億円 (18.4%) 24年12月期第3四半期 853億円 (—%)

指標の定義、計算方法等の詳細は「セグメント情報等」9ページをご覧ください。

のれん償却前四半期純利益 25年12月期第3四半期 417億円 (36.7%)

24年12月期第3四半期 305億円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	99.26	—
24年12月期第3四半期	72.29	72.23

(注) 当社は、平成25年4月16日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っています。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しています。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	1,236,611	546,629	41.6
24年12月期	844,450	204,275	22.5

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 514,564百万円 24年12月期 190,348百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	29,896.50	29,896.50
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期（予想）	—	—	—	58.00	58.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 当社は、平成25年4月16日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っています。平成24年12月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しています。

3. 平成25年12月期期末配当金： 上場記念特別配当を含みますが、普通配当・特別配当の内訳は、通期決算発表時にお知らせいたします。

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前年増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,120,000	12.9	70,500	20.6	65,500	21.2	31,000	32.6	118.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(参考) EBITDA 25年12月期通期（予想） 1,375億円 (19.9%)

のれん償却前当期純利益 25年12月期通期（予想） 550億円 (27.8%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 1社 （社名）PEPSICO INTERNATIONAL - VIETNAM COMPANY、除外 1社 （社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2013年12月期3Q	309,000,000株	2012年12月期	216,000,000株
-------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2013年12月期3Q	-株	2012年12月期	-株
-------------	----	-----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2013年12月期3Q	247,000,000株	2012年12月期3Q	216,000,000株
-------------	--------------	-------------	--------------

(注) 当社は、平成25年4月16日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っています。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の作成日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（2013年1月1日～2013年9月30日）における世界経済は、依然として、欧州債務問題等による景気の下振れリスクの懸念があるものの、緩やかな回復傾向が継続し、底堅さも見られました。わが国経済においても、円安・株高基調を背景に、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られる等、景気は穏やかに回復しつつあります。

このような状況の中、当社グループは、ブランド強化を軸に需要の拡大を図りました。

国内セグメントでは、重点ブランドでの新商品の投入や盛夏に向けたブランド横断型の消費者キャンペーンの実施等、積極的なマーケティング活動により事業規模の拡大と競争力の強化を図るとともに、コスト改善による収益性向上に注力しました。また、国際セグメントでも、引き続き各国での重点ブランドの更なる育成及び新興国での新商品の投入等による事業拡大、収益性の向上に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,372億円（前年同期比12.0%増）、営業利益は522億円（前年同期比20.0%増）、経常利益は485億円（前年同期比20.3%増）、四半期純利益は245億円（前年同期比57.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### [国内セグメント]

「BOSS」は、主力商品（「レインボーマウンテンブレンド」「贅沢微糖」「無糖ブラック」「カフェオレ」「超」）に加え、華やかな香りが特長の新製品「グランアロマ」を投入するとともに、特製の「ボスジャン」が当たる消費者キャンペーン等の販売促進活動を実施しました。これらの活動により、前年割れと推定される缶コーヒー市場の中で、当社は前年同期を上回る販売数量を達成しました。

「伊右衛門」ブランドは、盛夏にむけた積極的なマーケティング活動により、「伊右衛門」「贅沢冷茶」の2本柱が引き続き好調で、販売数量が大きく伸長しました。

「サントリーウーロン茶」は、スーパーマーケットと協働した販売促進活動を継続して実施しましたが、前年同期を若干下回る販売数量となりました。

「サントリー天然水」は、夏場の大幅な需要増に加え、健康志向の高まりを背景に伸長する無糖炭酸水市場に「サントリー 南アルプスの天然水 スパークリング」を新発売し、更なるブランド力強化を図った結果、販売数量が大幅に伸長しました。

「PEPSI」は、特定保健用食品「ペプシ スペシャル」のリニューアル、ゼロカロリーの訴求強化等によりユーザー拡大を図った結果、販売数量が前年同期を大きく上回りましたが、引き続き、来期に向けてブランド強化を図ります。

果汁入り炭酸飲料「オレンジーナ」は前年を若干下回る販売数量となったものの、引き続きご好評いただき、「オンリーワン」の価値をもつ商品としての地位を着実に築きつつあります。

また、機能性飲料「GREEN DA・KA・RA」は、夏場の熱中症対策飲料として支持をいただいたこと等により、販売数量が極めて大幅な伸びとなりました。

小容量サイズの商品の販売促進活動についても全力を挙げて取り組み、前年を大きく上回る販売数量を達成しましたが、更に活動を強化・継続していきます。

また、上記活動により売上の増大を図ると同時に、引き続き、製造原価及び物流費等のコスト革新を行い、収益性向上に向けた施策を進めました。

これらの結果、国内セグメントの売上高及びセグメント利益は、次のとおり、増収増益となりました。

国内セグメント売上高	5,420億円（前年同期比3.5%増）
国内セグメント利益	324億円（前年同期比21.1%増）

[国際セグメント]

国際セグメントでは、欧州、オセアニア、アジア、米州において、競合が激化する等、厳しい環境が続く中、各エリアでの重点ブランドの強化等に取り組みました。

欧州では、依然として厳しい経済環境が続いていますが、オランジーナ・シュウェップス・グループが、「Orangina」「Schweppes」等で、積極的なマーケティング投資を継続しブランドの強化を図った結果、販売数量が回復しつつあります。

オセアニアでは、フルコア・グループが、重点ブランドであるエナジードリンク「V」の販売促進活動を強化しました。また、ニュージーランドにおける「PEPSI」等の炭酸飲料の好調な販売も寄与し、フルコア・グループ全体で販売数量が伸長しました。

アジアでは、健康食品・加工食品を製造・販売するセレボス・グループが、タイにおける健康食品販売を中心に堅調に推移しました。サントリーガルダ・グループでは、ゼリードリンク「Okky」等が引き続き牽引するとともに、サントリーブランドの緑茶飲料「みらい」や「MYTEA[ウーロン茶]」も売上増に寄与しました。また、ベトナムにおいても、PepsiCo, Inc. との合弁会社が同国内初となるサントリーブランド「TEA+[ウーロン茶]」を発売する等、着実に事業規模を拡大しました。

米州では、Pepsi Bottling Ventures LLCが事業エリアの再編を実施し、更なる事業の基盤強化に取り組みました。

なお、9月には、英国の象徴的なブランドである「ルコゼード Lucozade」「ライビーナ Ribena」の製造・販売事業を譲り受けることについて、英国グラクソ・スミスクライン社と合意しました。グローバル戦略における更なる成長と事業基盤の強化、収益力向上を目指し、当社グループでの事業開始に向けて準備を進めます。

また、当期においてもフルコアグループでのペットボトル内製化及び新物流倉庫の本稼働等、国内で培った開発技術やコスト改善のためのノウハウを海外へ展開し、グループシナジーの強化による品質向上及び収益力強化に取り組みました。

これらの結果、国際セグメントの売上高及びセグメント利益は、為替の影響もあり、次のとおり、増収増益となりました。

国際セグメント売上高	2,952億円（前年同期比32.1%増）
国際セグメント利益	370億円（前年同期比16.9%増）

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品、有形固定資産、無形固定資産等の増加により、前連結会計年度末に比べ3,922億円増加して1兆2,366億円となりました。

負債は、有利子負債が減少した一方、支払手形及び買掛金等の増加により、前連結会計年度末に比べ498億円増加して6,900億円となりました。

純資産は、新株式の発行による資本金及び資本剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ3,424億円増加して5,466億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、重点ブランドの成長やコスト革新は着実に進んでいます。国内セグメントでは、競合が激化する中で小容量・高収益商品の販売は増加するものの計画には及ばないこと、来期以降に向けてブランドの育成・強化のためのマーケティング活動を積極的に展開する予定であること、また、国際セグメントでは、欧州での厳しい経済環境の影響が続くこと等により、通期の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益が計画を下回ることが予想されます。

つきましては、当第3四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、2013年7月3日に発表しました2013年12月期通期の連結業績予想を、下記のとおり修正いたします。

なお、業績予想の前提とした為替レートを変更しています。

(主な為替レート：1ユーロ=123円を128円に、1米ドル=95円を97円に変更)

また、当社は株主の皆様への利益還元を、経営における重要課題の一つとして考え、のれん償却前当期純利益に対する連結配当性向30%以上を目安に安定的な配当を目指します。

2013年12月期の期末配当に関しては、2013年7月3日付「東京証券取引所市場第一部上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」での開示において未定としておりましたが、上場記念特別配当を含め1株当たり58円(注)とする予定です。

(注) 上場記念特別配当を含みますが、普通配当・特別配当の内訳については通期決算発表時にお知らせします。

2013年12月期の連結業績予想の修正 (2013年1月1日～2013年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,130,000	百万円 75,000	百万円 69,000	百万円 35,000	円 銭 133.27
今回修正予想 (B)	1,120,000	70,500	65,500	31,000	118.04
増減額 (B-A)	△10,000	△4,500	△ 3,500	△ 4,000	—
増減率 (%)	△0.9	△6.0	△ 5.1	△ 11.4	—

(注) 1. 当社は、2013年4月16日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っています。当連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額を算定しています。

2. <参考>EBITDA 2013年12月通期(予想)今回修正予想1,375億円(前回発表予想1,420億円)  
のれん償却前当期純利益 2013年12月通期(予想)今回修正予想550億円(前回発表予想590億円)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

株式の新規取得等により、PEPSICO INTERNATIONAL - VIETNAM COMPANYを第2四半期連結会計期間より連結子会社に加えています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,069	284,945
受取手形及び売掛金	114,470	140,263
商品及び製品	27,731	40,842
仕掛品	2,402	3,558
原材料及び貯蔵品	14,621	19,945
その他	33,988	42,827
貸倒引当金	△389	△410
流動資産合計	218,895	531,972
固定資産		
有形固定資産	235,338	271,201
無形固定資産		
のれん	349,929	367,306
その他	10,205	29,943
無形固定資産合計	360,135	397,250
投資その他の資産		
投資有価証券	15,781	17,495
その他	14,996	18,224
貸倒引当金	△797	△836
投資その他の資産合計	29,981	34,882
固定資産合計	625,455	703,333
繰延資産	99	1,305
資産合計	844,450	1,236,611

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	93,465	113,552
電子記録債務	14,663	18,121
短期借入金	311,214	156,873
未払法人税等	5,103	6,544
賞与引当金	1,828	4,197
リース債務	1,644	1,578
その他	109,265	148,366
流動負債合計	537,186	449,235
固定負債		
長期借入金	30,483	156,913
退職給付引当金	6,815	6,504
役員退職慰労引当金	32	22
リース債務	3,247	2,893
その他	62,410	74,413
固定負債合計	102,988	240,747
負債合計	640,174	689,982
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,000	168,384
資本剰余金	54,395	192,779
利益剰余金	122,609	134,391
株主資本合計	207,004	495,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	429	821
繰延ヘッジ損益	435	442
為替換算調整勘定	△17,521	17,745
その他の包括利益累計額合計	△16,656	19,009
少数株主持分	13,927	32,064
純資産合計	204,275	546,629
負債純資産合計	844,450	1,236,611



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	747,274	837,157
売上原価	330,941	370,410
売上総利益	416,333	466,747
販売費及び一般管理費	372,809	414,536
営業利益	43,523	52,210
営業外収益		
受取利息	214	295
持分法による投資利益	—	365
その他	886	765
営業外収益合計	1,101	1,426
営業外費用		
支払利息	3,937	3,692
その他	385	1,451
営業外費用合計	4,322	5,144
経常利益	40,302	48,493
特別利益		
受取保険金	—	1,049
受取補償金	260	—
組織再編益	—	2,281
その他	103	54
特別利益合計	364	3,385
特別損失		
固定資産廃棄損	2,536	1,820
組織再編関連費用	—	1,831
その他	577	138
特別損失合計	3,113	3,790
税金等調整前四半期純利益	37,552	48,088
法人税等	19,434	20,372
少数株主損益調整前四半期純利益	18,117	27,716
少数株主利益	2,504	3,199
四半期純利益	15,613	24,516

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,117	27,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122	391
繰延ヘッジ損益	6	6
為替換算調整勘定	1,663	36,482
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	475
その他の包括利益合計	1,783	37,356
四半期包括利益	19,900	65,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,662	60,182
少数株主に係る四半期包括利益	2,238	4,890

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	国際 (注) 4			
売上高					
外部顧客への売上高	523,787	223,487	747,274	—	747,274
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	837	837	△837	—
計	523,787	224,325	748,112	△837	747,274
セグメント利益 (注) 3	26,748	31,691	58,440	△14,917	43,523

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない、のれん償却額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 報告セグメントごとのEBITDAは次のとおりです。

(単位:百万円)

	国内	国際	合計
セグメント利益	26,748	31,691	58,440
減価償却費	20,537	6,309	26,846
EBITDA ※	47,286	38,001	85,287

※ EBITDAは、セグメント利益に減価償却費を加えた数値です。

4. 国際セグメントを、現地法人グループの親会社の所在地別に分類した売上高、利益及びEBITDAの内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

	欧州	オセアニア	アジア	米州	国際計
売上高					
外部顧客への売上高	97,136	23,069	54,897	48,383	223,487
セグメント間の内部売上高 又は振替高	837	—	—	—	837
計	97,974	23,069	54,897	48,383	224,325
セグメント利益	18,597	3,020	4,935	5,138	31,691
減価償却費	2,466	850	1,259	1,732	6,309
EBITDA	21,064	3,870	6,196	6,870	38,001

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	国際 (注) 4			
売上高					
外部顧客への売上高	542,004	295,152	837,157	—	837,157
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	736	736	△736	—
計	542,004	295,889	837,894	△736	837,157
セグメント利益 (注) 3	32,400	37,034	69,434	△17,223	52,210

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない、のれん償却額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 報告セグメントごとのEBITDAは次のとおりです。

(単位:百万円)

	国内	国際	合計
セグメント利益	32,400	37,034	69,434
減価償却費	22,116	9,457	31,573
EBITDA ※	54,516	46,491	101,007

※ EBITDAは、セグメント利益に減価償却費を加えた数値です。

4. 国際セグメントを、現地法人グループの親会社の所在地別に分類した売上高、利益及びEBITDAの内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

	欧州	オセアニア	アジア	米州	国際計
売上高					
外部顧客への売上高	120,856	28,708	90,761	54,827	295,152
セグメント間の内部売上高 又は振替高	736	—	—	—	736
計	121,592	28,708	90,761	54,827	295,889
セグメント利益	21,676	3,176	6,303	5,877	37,034
減価償却費	3,222	925	3,268	2,040	9,457
EBITDA	24,898	4,102	9,571	7,917	46,491

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、国内における有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）並びに欧州及び米国を中心とする海外市場（ただし、米国においては米国証券法に基づくルール144Aに従った適格機関投資家に対する販売のみとする。）における募集による新株式発行を行い、2013年7月2日に払込が完了しています。

この結果、当第3四半期連結会計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ138,384百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末における資本金が168,384百万円、資本剰余金が192,779百万円となっています。